

Logical Solutions 社 コンソールサーバ「SCS-RJシリーズ」と PRIMEPOWER 250, PRIMERGY TX200 S2 の 接続検証結果報告書

株式会社 昌新
技術部

1. 作業実施概要

Logical Solutions 社のコンソールサーバ「SCS-RJシリーズ」とPRIMEPOWER 250(以下、PW250)および PRIMERGY TX200S2 (以下、TX200S2) との接続・動作確認を実施致しました。



2. 被検証装置

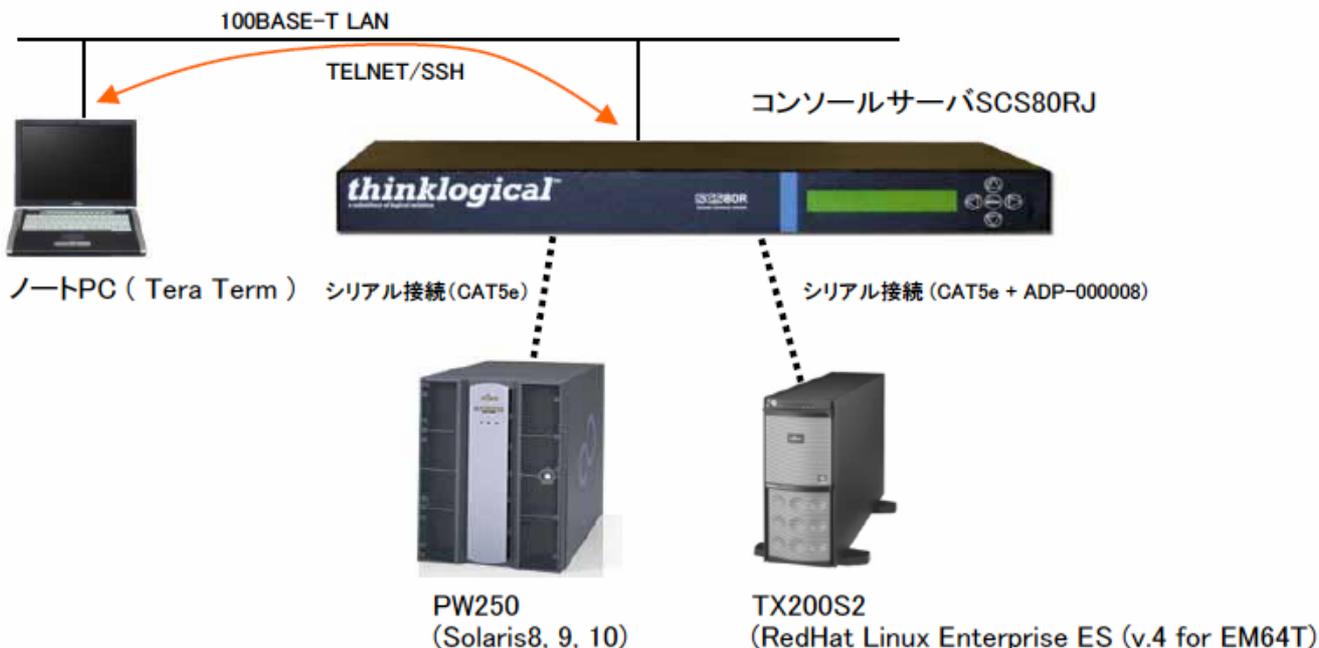
品名	型名
コンソールサーバ SCS80RJ	SCS-00080RJ

3. 作業期間：2006年2月24日 11:00~17:30

4. 作業場所：富士通 Platform Solution Center

5. 実施システム構成(概要)

- ① コンソールサーバ SCS80RJ (型名:SCS-00080RJ)
- ② PW250 (OS:Solaris 8 OS 2/02, Solaris 9 OS 9/04, Solaris 10 OS 3/05)
グラフィックカード:XVR-100 アクセラレータ (型番:PW0G8GA31)
- ③ TX200S2 (OS:RedHat Enterprise Linux ES (V.4 for EM64T))
CPU:Xeon3.60EGHz/2MB×2, Memory:2GB, HDD:73GB×3(RAID5)



6. 検証項目

- ① Tera Term を実行する Windows PC からシリアル、telnet および SSH によりコンソールサーバ SCS80RJ に接続出来る事。
- ② PW250 の OpenBoot と Solaris のシリアルコンソール操作を支障なく行える事。
- ③ TX200S2 の BIOS と Linux のシリアルコンソール操作を支障なく行える事。
- ④ コンソールサーバ「SCS80RJ」の電源を切った時に PW250 の Solaris が停止しない事。

7. 検証結果

- ① Tera Term を実行する Windows PC からシリアル、telnet および SSH により、コンソールサーバ SCS80RJ に接続できる事を確認。
- ② PW250 の OpenBoot と Solaris のシリアルコンソール操作

操作項目	PW250		
	Solaris 8	Solaris 9	Solaris 10
OpenBoot 操作	◎	◎	◎
OS 操作	◎	◎	◎
電源操作	◎ #shutdown -i0 -g0 で ok プロンプトとなる	◎ #shutdown -i0 -g0 で ok プロンプトとなる	◎ #shutdown -i0 -g0 で ok プロンプトとなる

- ③ TX200S2 の BIOS と Linux のシリアルコンソール操作

操作項目	TX200S2
BIOS のリダイレクションと設定操作	◎
Grub メニューの操作	◎
Linux のコンソール操作	◎
BMC による電源操作	◎
BMC とシステムの切替操作	◎

- ④ コンソールサーバ「SCS80RJ」の電源を切った時に PW250 の Solaris が停止しない事を確認。

8. TX200S2 の BIOS 設定

Phoenix BIOS Version 4.06 Rev. 1.03.1919

- ① Main

Boot Option

Keyboard Check を Enable(ご購入時)から Disable へ変更

- ② Advanced

Peripheral Configuration

Serial Multiplexer を System(ご購入時)から Shared へ変更

- ③ Server

Console Redirection を Disable(ご購入時)から Enable へ変更

Protocol を VT100+(ご購入時)から VT100 へ変更

Flow Control を CTS/RTS(ご購入時)から None へ変更

Mode を Enhanced(ご購入時)から Standard へ変更

9. TX200S2 の RedHat Enterprise Linux ES (V.4 for EM64T) の設定

/boot/grub/grub.conf の設定

'splashimage=.....' の行をコメントアウト.

title 行の前に, 'serial --unit=0 --speed=9600 --word=8 --parity=no --stop=1'を追加.

title 行の前に, 'terminal --timeout=10 serial console'を追加.

kernel 行の末尾にオプションとして 'console=tty0 console=ttyS0,9600n8'を追加.

/etc/initab の設定

最後に'co:2345:respawn:/sbin/agetty 9600 ttyS0 vt100'を追加.

/etc/sysconfig/kudzu の設定

'SAFE=yes'に変更.

/etc/securetty の設定

'ttyS0'を追加.

/etc/sysconfig/init の設定

'BOOTUP=serial'

お問合せ先

株式会社昌新

情報システム営業部

TEL: 03-3270-5926

E-mail: IS@shoshin.co.jp

URL: <http://www.shoshin.co.jp/c/lsci/scs/>

以上